

第2回シンポジウム

『自然治癒力と自然免疫』

日時 平成25年3月27日(水) 13:00～17:15 (12:00受付開始)

場所 笹川記念会館 第1、2合同会議室 鳳凰の間
(東京都港区三田3-12-12)

入場料 一般:1,000円 学生:500円 (交流会:5,000円)

プログラム

定員150名:申込先着順
(3月8日申込締切)

13:00～13:15 開会挨拶

自然免疫制御技術研究組合 代表理事 杉 源一郎

経済産業省製造産業局生物化学産業課 (予定)

一般財団法人バイオインダストリー協会 専務理事 塚本 芳昭 様

13:15～14:45 講演 (前半の部)

座長 寺田 弘 氏 (東京理科大学薬学部 教授)

(13:15～14:15) 「ToII様受容体の活性制御機構とその破綻」

三宅 健介 氏 (東京大学医科学研究所 教授)

(14:15～15:00) 「糖脂質を用いたマクロファージ制御と自然治癒力」

稲川 裕之 氏 (香川大学医学部 客員准教授)

15:00～15:20 休憩

15:20～17:10 講演 (後半の部) / パネルディスカッション

座長 寺田 弘 氏 (東京理科大学薬学部 教授)

(15:20～16:20) 「自然死を見つめて」

中村 仁一 氏 (社会福祉法人老人ホーム同和園附属診療所 所長)

(16:20～17:10) パネルディスカッション

17:10～17:15 閉会挨拶

自然免疫制御技術研究組合 副代表理事 上田 和男

17:20～19:20 交流会

主催 自然免疫制御技術研究組合

後援(予定) 経済産業省、一般財団法人バイオインダストリー協会、国立大学法人香川大学、

公益財団法人かがわ産業支援財団、独立行政法人科学技術振興機構、

一般財団法人四国産業・技術振興センター

問い合わせ先

〒761-0301 香川県高松市林町2217-44 ネクスト香川301 自然免疫応用技研(株)内

自然免疫制御技術研究組合(吉田、中田) TEL:(087)867-7712 FAX:(087)867-7737

第2回シンポジウム『自然治癒力と自然免疫』開催にあたり

「自然免疫制御技術研究組合」は、糖脂質を用いた自然免疫の有用な制御技術を開発する目的で、平成22年3月8日、経済産業省の認可を受け、四国では初めての技術研究組合として設立されました。現在、自然免疫活性を制御するさまざまな新規な素材の研究開発に取り組むとともに、自然免疫制御による健康維持戦略の確立に向けリテラシー向上にも力を注いでおります。

今回、ご案内申し上げます「第2回シンポジウム『自然治癒力と自然免疫』」は、こうした活動の一環で、健康寿命の延伸に重要な役割を担う「自然免疫」について、様々な角度から、多くの皆様にわかりやすくご紹介することなどを目的として、昨年度に続き、当組合が主催者となって開催させていただくものです。

高齢化がますます進行する中で、「病気になってからの治療」という受身の姿勢ではなく「健康長寿の追求」と「治療から予防」への転換が求められております。そこで、昨年は、『自然免疫、その新展開』と題して第1回目のシンポジウムを開催しました。座長には順天堂大学 奥村康教授、シンポジストとして、腸内細菌研究の第一人者 東京大学 光岡知足名誉教授、自然免疫の情報伝達研究の第一人者 大阪大学 審良静男教授をお招きし、最先端の研究のご講演を頂くとともに、パネルディスカッションを通じて活発な質疑が交わされました。

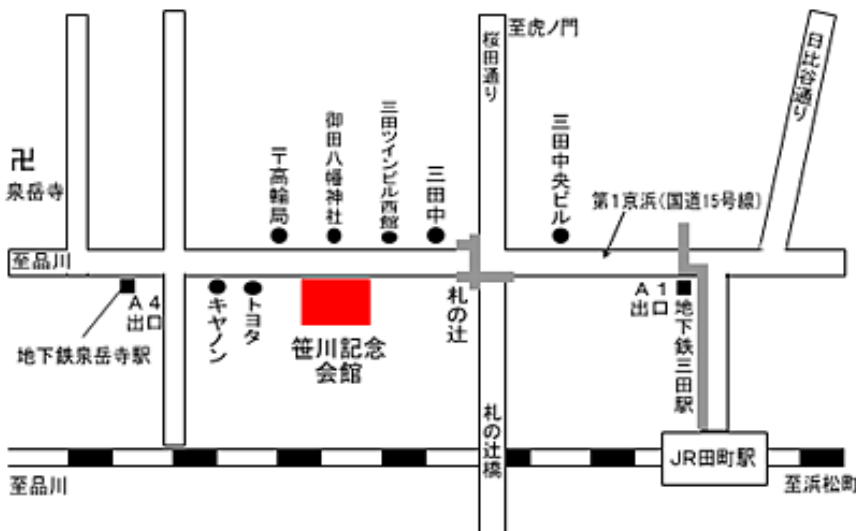
さて、第2回目となります本シンポジウムでは、『自然治癒力と自然免疫』という視点に関連する分野のエキスパートをお招きして、ご講演を頂きますとともに、パネルディスカッションの場を設けて、会場の皆様にもご参加頂き、活発な討議を行う予定でございます。

日本は世界有数の長寿国家となりました。これは国として誇るべきことでありますが、その一方で、高齢化に伴い医療費が増加している事実にも現れているように、必ずしも健康とは言えない状態にある高齢者も少なくありません。どうすれば活動的な生活を営むことができるのか、健康寿命の延伸が今後の大きな課題の一つとされております。この取り組みとして、人間を含む生物に元来備わっている「自然治癒力」の低下を抑え、さらに100%活用することにより、疾患リスクの低減を図り、病気からの回復速度を早めることなどが考えられております。このことは、健康寿命の延伸に繋がるだけでなく、医療への過度な依存を減らし医療費の削減にも資することになります。「自然治癒力」は、未だ明快に科学的な説明ができる訳ではありません。しかし、「免疫」、とりわけ全ての生物に備わっており、身体を守る仕組みの基盤となっている「自然免疫」が関与することがわかってきています。糖脂質は「自然免疫」の制御に大きな関わりを持っています。そこで、「自然免疫」制御の仕組みを理解し、糖脂質などを活用する技術を開発することが自然治癒力を高め「健康で長寿」を実現する有力な手がかりになると期待されます。

免疫関連の研究者、予防医療や健康産業に携わっておられる各界の皆様、そして免疫に興味をお持ちの皆様には、自然免疫に関する研究と開発の現状やこれからの展望を理解していただく機会にして頂ければ幸いと存じます。

たくさんの方々にご出席を賜りますよう、ここにご案内申し上げます

笹川記念会館アクセスマップ



最寄りの交通機関

- ・JR田町駅
三田口より徒歩8分
- ・都営地下鉄三田線
三田駅より徒歩6分
- ・都営地下鉄浅草線
泉岳寺駅より徒歩3分

笹川記念会館
〒108-0073
東京都港区三田3-12-12
TEL : 03-3454-5062

講演者紹介

三宅 健介 氏



東京大学医科学研究所 感染遺伝学分野、
システム疾患モデル研究センター自然免疫研究分野 教授

岡山大学医学部卒業。佐賀医科大学医学部、助教授を経て、2001年度より、東京大学医科学研究所の教授に着任、感染遺伝学分野の分野長も務める。東京大学に移った2001年度の12月から2007年度の間はCREST事業の「免疫難病・感染症等の先進医療技術」研究領域における「病原体糖脂質認識シグナル伝達機構の解明」の研究に研究代表者として携わる。このCREST事業においてTLR4/MD-2による糖脂質（LPS）認識について研究を行なった。現在もToll様受容体（TLR）とその内因性リガンドとの相互作用が維持する恒常性機構の破綻が様々な病態の発症に寄与する「自然炎症」という概念に基づき様々な研究を実施している。

稲川 裕之 氏



香川大学医学部統合免疫システム学講座 客員准教授

埼玉大学工学部卒業。水産大学校准教授を経て、2011年より現職。研究系譜から比較免疫学的研究視点を持ち、生物個体に特有に備った免疫機構解明を手掛ける。マクロファージの活性化制御に基づく難治性疾患予防・治療の研究は水野伝一（元東京大学副学長）に出会ってから、30年間に亘り応用と基礎研究に携わっている。また、グラム陰性菌の糖脂質が極めて有用性が高いことを22年前に杉源一郎（自然免疫制御技術研究組合代表理事）と見出し、以来この実用化研究を展開している。現在、自然免疫応用技術株式会社取締役、NPO環瀬戸内自然免疫ネットワーク理事兼務。

中村 仁一 氏



社会福祉法人老人ホーム同和園附属診療所 所長、医師

京都大学医学部卒業。財団法人高雄病院院長、理事長を経て、2000年2月より現職。一方、「同治医学研究所」を設立、有料で「生き方相談」「健康相談」を行う。1996年4月より、市民グループ「自分の死を考える集い」を主宰。医療の過度の介入をできるだけ避け、自然に死にゆく過程を邪魔しないことで、自身が関与する老人ホームにおいて、多くの老人の穏やかで安らかな自然死を看取ってきた。主な著書に「老いと死から逃げない生き方」（講談社）、「幸せなご臨終-「医者」の手にかかって死なない死に方」（講談社）、「ベストセラー「大往生したけりや医療とかかわるな（「自然死」のすすめ）」（幻冬舎）がある。病院における延命ための過剰医療に疑問を提示するとともに自らの体内から発せられる諸々のサインに敏感たれと説いている。

座長紹介

寺田 弘 氏



東京理科大学薬学部 教授、薬学部DDS研究センター センター長

京都大学医学部薬学科卒業。徳島大学教授を経て、2002年より現職。研究の幅は極めて広く、薬効物理化学に多大な業績を残すだけでなく、現在では、自然免疫に着目してマクロファージをターゲットにした慢性難治性感染症および肺がん治療に向けた新規薬物送達システムに基づく経肺吸収剤の開発、並びに低侵襲性乳がん治療法の開発をも行っている。また、国際薬学連合評議員など、世界薬学に対する功績から、『永年薬学研究顕著功績』、『国際薬学連合に対する薬学サイエンスの寄与』、『国際薬学連合に対する科学組織的貢献』、『世界薬学会議における貢献』など多数受賞されている。

申込期限: 3月8日(金)

第2回シンポジウム『自然治癒力と自然免疫』参加申込書

参加ご希望の方は、以下の太線枠内に必要事項をすべてご記入の上、FAXまたは電子メールにてお申し込みください(個人で参加される方は、連絡先とお名前のみご記入ください)。

先着順にてお申込の受付を致します。席に限りがございますので、定員に達した場合はお断りさせて頂く場合もございます。予めご了承下さい。

企業・団体・大学名		
連絡先	TEL:	FAX:
	電子メールアドレス:	
	ホームページURL:	

お名前	所 属 ・ 役 職	交流会【17:20～19:20】 (どちらかに を付けて下さい。)
		参加 ・ 不参加
		参加 ・ 不参加
		参加 ・ 不参加
		参加 ・ 不参加
		参加 ・ 不参加

事務局よりのご案内



本シンポジウム終了後、同会場5Fレストラン菊にて「交流会」(会費:5,000円)を開催します。奮ってご参加下さい。
(当日、受付でお支払下さい)

お申し込み先

FAX:(087)867-7737 / 電子メール:ciitra@shizenmeneki.org

本シンポジウムを知ったきっかけ (☑を入れてください)	本組合ホームページ 知人・取引先の紹介 その他()	シンポジウムちらし 新聞記事(新聞名:)
--------------------------------	----------------------------------	--------------------------

ご提出いただいた個人情報は、本シンポジウムの目的以外には使用いたしません。

問い合わせ先

〒761-0301 香川県高松市林町2217-44 ネクスト香川301 自然免疫応用技研(株)内
自然免疫制御技術研究組合(吉田・中田) TEL:(087)867-7712 FAX:(087)867-7737